

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	統括部局：学生部	担当部局：学長室・教務部・学生部
大項目	8 学生支援	
中項目		
小項目	8.0.1 学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう学生支援に関する方針を明確に定めているか。	
要素	学生に対する修学支援、生活支援、進路支援に関する方針の明確化	
小項目	8.0.2 学生への修学支援は適切に行われているか。	
要素	留年者および休・退学者の状況把握と対処の適切性	
	補習・補充教育に関する支援体制とその実施	
	障がいのある学生に対する修学支援措置の適切性	
	奨学金等の経済的支援措置の適切性	
小項目	8.0.3 学生の生活支援は適切に行われているか。	
要素	心身の健康保持・増進および安全・衛生への配慮	
	ハラスメント防止のための措置	

○2009年度からの目標

1. 「オンリーワン」の学生を育てるために、効果的で総合的な学生支援を推し進める体制を整備する。
2. 休・退学者の状況を把握し、退学率を抑制・低減する。
3. 目標取り下げ
4. 障がいをもつ学生に対して総合的な支援を行う体制を整備する。
5. 関学支給奨学金（経済支援型奨学金）対象者数を増加させ、関学貸与奨学金（入学時及び家計急変等の緊急時対応）の目的を特化させる（貸与奨学金の定期採用に代えて、支給奨学金の規模を拡大する）。
6. キャンパス・ハラスメント防止に関する研究会を、各組織がそれぞれ最低5年間に1回は開催する（2010年4月段階で、11学部及び併設の研究科、2つの専門職大学院、1つの独立研究科 合計14組織）。
7. 体育館を利用する課外活動団体の活動を強化する。

○指標

1. 学生支援に関する全学的な方針を定める。
2. 退学率2%未満を保持する。
3. 目標取り下げにより指標なし
4. キャンパス自立支援課と学生支援センターの統括
5. 現行、貸与奨学金（定期採用）の予算約8,500万円のうち、1,000万円（25名程度採用可能）を補充採用分として確保し、残額を支給奨学金予算（現行約2億9,300万円）に上乗せする。これにより、支給奨学金の採用者数を250名程度増加させる（1名当たり30万円支給とした場合）ことが可能となる。なお、奨学金の全体像について整備が必要であり、現行の支給奨学金の選考方法等についても見直すこととしている。
6. 各組織の研究会開催状況（開催件数）。5年間に最低1回はキャンパス・ハラスメントの講演会を開催する。
7. 総合体育館を使用する課外活動団体8団体（バスケットボール部、バレーボール部、ハンドボール部、バドミントン部、レスリング部、フェンシング部、卓球部、器械体操部）に対して、年間951時間20分の使用時間増を実現する。